

みたか体協だより

発行 三鷹市体育協会

会長 清水 紘子

編集 広報部

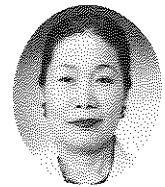
2007年3月 復刊 第6号

〒181-0014 東京都三鷹市野崎1-1-1

TEL・FAX 0422(43)2500

http://www.mitaka-taikyo.com/

ご挨拶



三鷹市体育協会 会長
清水 紘子

吉野前会長の後をお引き受けしてからは二年になります。

この二年間、就任の時に申しましたように二つの基本方針、その第一は加盟団体・会員の活動のより一層の発展をはかること、第二には、三鷹市草分けの市民団体としてス

健康長寿をめざしスポーツの

魅力を生かす体協の歩み



三鷹市長
清水 紘子

三月を迎えて、平成十八年度もまとめの時期となりました。この年度も、三鷹市体育協会の皆様には、幅広い活躍をいただいてまいりましたことを心強く感じております。皆様のご貢献に深く感謝を申し上げます。

現在の三鷹市における市民

スポーツを通して市民生活の向上と市の発展に貢献すること、を念頭に置き、行動の心がけとしましては「クイック・アクション」すなわち「即時実行」をモットーとして微力ながら努めて参りました。

この間、様々な問題の処理の際には理事会のかたがたのお手を煩わせましたし、また、スポーツフェスティバル等の行事では加盟団体の手厚いご協力を戴きました。有り難いことと存じております。

スポーツを取り巻く状況と課題は、次の四つのスポーツ事業に関連付けて考えることができます。

一つは、「みたかわんぱくサッカーフェスティバル」の開催やフットサルの普及等に見られるサッカーをめぐる活動の活発化です。二つは、平成二十五年開催予定の国民体育大会東京大会の開催に関わる三鷹市の役割です。現時点ではソフトボール大会を大沢グラウンドで開催する予定が明確になってきています。三

さて本年は、我が協会として創立五十周年という大きな節目にあたり、懸案の記念行事が五月に予定されております。これにつきましては三年前から準備委員会・実行委員会を積み重ね、また各加盟団体にお願いしながら記念誌の発刊、式典の挙行等、準備を整えて参りました。

また、いつぼう、六年後の平成二十五年開催予定の第六十八回国民体育大会(東京国体)が昨年からの具体的な準備段階

つ目は、「東京マラソン2007」が開催される中での市民駅伝大会の開催の意義です。四つ目は、平成二十八年東京オリンピック誘致に向けた東京都の動きが活発化する中でのこれからの市民スポーツの振興のあり方です。

加えて昨年十二月には第十五回アジア競技大会がカタールのドーハで行われ、三鷹市在住の市原則之さんが総監督として活躍されるとともに、三鷹市在住の三人の女子体操選手が団体や種目別で銅メダ

に入り、施設・組織の受け皿作りや、ジュニア競技者層の開発・育成の動きが出て参りました。後者につきましては、当協会でもすでに幾つかの団体にプロジェクトの実施をお願い致しましたところでございます。

それやこれやで、今年我が協会も内外多忙な年となることが予想されます。加盟団体・会員の皆様がたには一層のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ルを獲得されました。この慶びが北京オリンピックにおける三鷹市在住の選手の皆さんの活躍に対する期待を増してまいります。去る一月二十二日に、三鷹市としてこの四名の皆様特別感謝状をお送りしました。

このような話題が多い中、体育協会は、清水紘子会長を中心に、組織をあげて、「健康、さわやか、ふれあい、チャレンジ」を柱とした生涯スポーツの振興に努力されました。また、市民体育祭スポー

ツ大会、みたかスポーツフェスティバル、三鷹市民駅伝大会等の事業を通して、継続的に市民スポーツの振興に關わっていただきました。

平成十九年度は、体育協会が創立五十周年を迎えます。そこで、記念事業の実施や、組織の強化も目指していると伺っています。加盟団体会員

日頃から、三鷹市体育協会の役員の皆様、またそれぞれの加盟団体でご活躍されている会員の皆様には、三鷹市の市民スポーツ発展のために、大きな原動力としてご尽力いただきまして、厚く御礼申し上げます。

体育協会の皆様には、「いつでも、どこでも、だれでも、そしていつまでも」均しくスポーツ活動に親しみ、健康で自分らしい生活を送り、市民相互の交流が図られ、あらゆる世代の方が「スポーツを生涯の友に」を目標として平成十七年五月に策定された「みたか生涯学

向上を図りつつ、次世代の指導者の育成、ジュニア層の育成を目標に掲げられています。また、三鷹市老人クラブ

連合会主催の高齢者健康保持事業への協力をはじめ、中高年齢層の市民の皆様の生きがいを支援し、体位の向上と健康の保持・増進を図る取り組みもしていただいています。こうした取り組みは体育協

習プラン2010」の推進役として、「みたかスポーツフェスティバル」や「市民駅伝大会」、さらに五十六回目を迎えました「市民体育祭スポーツ大会」などの全市をあげたスポーツ事業における主催団体として、大きな役割を担っていただいておりますことに深く感謝申し上げます。

「市民が輝く」体協活動

生涯学習担当部長 山本 博 章

また、第四十回東京都市町村総合体育大会や第五十九回都民体育大会では、各種競技団体が、日頃培われた練習の

また、第四十回東京都市町村総合体育大会や第五十九回都民体育大会では、各種競技団体が、日頃培われた練習の

会の新しい発展に繋がる重要な布石であり、引き続き平成十九年度においても、推進しただければ幸いです。

結びに、体育協会の皆様が、ご健勝にてご活躍され、「夢のある二十一世紀の体育協会づくり」を目指して、一緒に「みたか新時代」を創るべく一歩一歩前進されまことを心から願います。

成果を存分に発揮され、実り多い結果を残されたことは、市民にとっても、生涯スポーツの励みとなりました。

今後も、このような成果が市民スポーツの推進役となり、市民の元気と輝きを生み出す原動力となることを期待いたします。

三鷹市体育協会創立五十年という節目の年を迎え、体育協会がますます発展されるようお祈りいたしますとともに、皆様の一層のご活躍とご協力をお願い申し上げます。

総務部会

活動紹介

総務部会長 松野 國夫

私達総務部は、まとめ役の山口副会長をはじめ、野球の片桐さん、サッカーの大川さん、なぎなたの野村さん、ボウリングの和田さん、合気道の丸山さん、山岳の三谷さん、ソフトボールの私、七名で現在は構成されています。

規程によると総務部は、組織、規定、運営に関する企画、立案及び付属機関の検討、研究課題その他総括的事項の検討となっております。私が総務になった経緯は定かではありませんが、大分ながくやって

いるように思います。最初の頃は何をすれば良いのか解らずに何も出来なかった、と言うのが実情でした。最近になり会長も変わった頃からですか夫々、専門部に対しあれやこれや、これをやれとのこといろいろな取り組むようになりました。私が記憶にある範囲では、最初に取り組んだのが、体協加盟団体に配分され

る市内競技補助金についてでした。

平成十四年の理事会の席で、ある理事の方から補助金の配分方法はどうなっているのですか？ と言う質問がありました。その時ある役員の方の答えが、「決められた額を団体の規模と、体協に対する貢献度を加味して決めている」、又事務局では、「毎年同じ額を配分している」とのこととで、更に質問があり、理事長が「この件は総務で検討しろ」と言うのがきっかけで、総務らしい仕事に取り組みました。

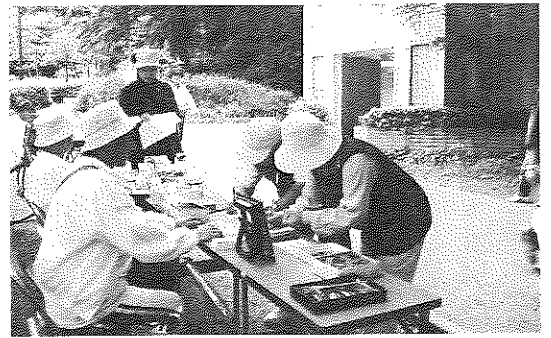
総務として検討した結果、先ず数字的に割り出せること、現状から大きく逸脱しないこと、貢献度については計り様がないので、加盟する団体の特殊な事情を考慮する形でまとめてみました。

平成十五年度にこの配分案が、評議員会で可決され、現在に至っています。事務局からは配分の基準ができてから予算が決まり、登録人数が判

れば誰でも計算ですぐ出せること、質問されてもすぐ説明できるので良かったと言われている。加盟団体によつては少なくなつたと苦情の言葉も頂きましたが、限られた予算の中から曖昧な感じの配分をするよりも、計算ではつきり出せる方法がベストと考え決めさせて頂きましたので、悪しからずご了解下さい。

その他として、加盟団体が施設に対してどの様な要望を持たれているのかと言う調査や評議員会での議長・書記の選出方法、又各種協力依頼時の人数配分等を検討しました。現在は、規約の見直しを実施中で、次年度の評議員会までにはまとめ上げ、提案をさせて頂くべく、頑張つているところです。

先般の記念すべき第七十回歩行力測定会は、総務部が担当、成功裏に運営できました。今後とも少しでも体協が発展するように総務部一同、知恵を出しあつて行きたいと思つていきますのでよろしくお願ひ致します。



歩行力測定会受付 (井の頭恩賜公園)

企画部会

企画部会長 野田 順一

三鷹市体育協会企画部会は、現在八名の部会員で構成され運営されています。

三鷹市体育協会専門部会規程によると、企画部会の分掌事項は、体育協会の事業の企画・立案・編成および他体育団体の状況調査ならびに資料収集等に関する事項であります。

企画部会の最近の主な活動内容を報告いたします。
平成十七年度には、加盟団

体との連携強化、行政監査に備えて、加盟団体活動内容の把握のため、「加盟団体現況届」を立案し、その提出に向けて協会の把握すべき内容の整理・提出書類の検討を行い理事会に報告しました。各加盟団体からの現況届と提出書類により活動内容が把握出ています。

十八年度は、体育協会創立五十周年記念事業の準備委員会を担当し、事業内容・記念誌等の企画立案を行い、現在五十周年実行委員会に移行後も企画部会の全員が参加し活動しています。

指導部会

指導部会長 正田 朋子

三鷹市スポーツ指導員養成講習会・研修会

企画から実施までの流れは概ね次のとおりです。

企画 八月下旬に期日、内容、講師等の検討を行います。九月下旬に再検討のうえ日時決定、会場確保、講

師依頼等の詰め作業を行います。

広報 十二月第三週発行号の「広報みたく」に内容、申込み締切日等を掲載。

事務処理、確認 本年度資格保留者を確認し、各連盟に連絡します。

実施当日 会場設営、講師誘導、スポーツ指導員カードの検印、参加者数の確認、原簿への記載、その他後片付けなどです。

認定 新規認定受講者(三回以上受講修了)は八百字以上のレポート提出により認定を受けます。合格者は四月一日付けで認定証とスポーツ指導員証の交付を行います。

ちなみに、今回の受講者数は四回で二百五十五人、認定指導員数百九十三人でした。

幹部研修会

十一月の幹部研修会は、市内体育施設の見学会を実施しました。スポーツ振興課長の案内説明により活発な意見交換等も行われ、後で施設改善

要望も行い有意義な研修会でした。来年度の企画が楽しみです。

各部会持ち回り担当事業

今年の体協新春懇親会を担当いたしました。初めての会場でもあり、朝八時半に集合して下見をする等、万全な事前準備に努めました。その他歩行力測定会においても協力し合つて楽しく進んで行けたらと念じています。

広報部会

雑感

広報部会長 小澤 寛恭

広報部会員七人、部会を開催するもなぜか出席率が高いとは言い難い我が部会。たまにたまメンバーが多忙を極める皆さんだからね。情報化社会だからだいたい必要なことは皆知っているよ。広報部はよくやっていますね。多種多様な声援、はたまた高評価のなか自戒とともに何とか地道に励んでまいりました。

市民体育祭スポーツ大会には、各実施団体のご協力により市の広報に特集記事をはじめとする実施種目すべての周知を行いました。市民からの問い合わせなど市民体育祭の気運の高まりを感じるのは例年この時期であります。

昨年秋の歩行力測定会は、第七十回という節目に当たりました。総務部会さんが担当し特に力を入れられました。が、広報活動としても周知用チラシを作成してコミュニティセンターや近隣市体協にも協力依頼いたしました。更に一般新聞にも節目の情報を提供いたしましたところ、幸い数誌の多摩版に掲載され、例会に比べ参加者五割増におおきく貢献できたものと自負しております。他部会との相互連携取り組みの成功例ともいえましよう。

高度情報化社会の最中、体協の広報活動も時のうねりとともに変容を迫られていると思います。体協創立五十周年記念事業の一環として体協ホームページが開設され、そ

の充実に向けているいま、これらのメディアとも融合した新しい広報のあり方の必要性を感じています。時代の波に即応した部会員による躍動的な活動が求められています。

スポーツ指導員養成講習会

「スポーツを

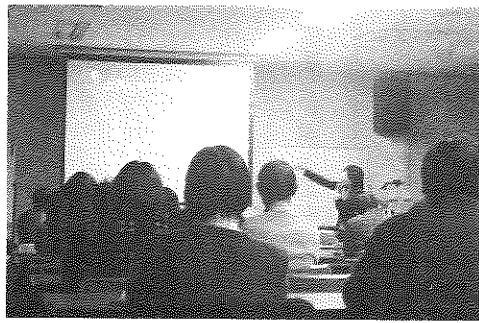
楽しむための栄養学」を受講して

バドミントン協会 児玉 清彦

講師が担当した浦和レッズ・天皇賞前夜の夕食メニューがスクリーンに。また、水泳の北島康介選手の軽食メニューも紹介される。私は翌日、その軽食「バナナジュース」に挑戦。材料はバナナ、低脂肪牛乳、フルーツヨーグルト、レモン、蜂蜜だ。なんだか一流選手気分になれたが自分のお腹は三流、ビツクリしています。

質問タイムにバドミントン大会で自分は「三試合目には足がつる」と悩み質問しました。早速、こんな提案があり

ました。「一週間前なら月火水は蛋白質を多くとり、木金土は炭水化物を多くとると」。蛋白質で体力を作り、炭水化物でエネルギーを補給しましょうと。よし！ゲンかつぎのカツ丼は前日より月曜日に代えてみようかな。



あっという間の1時間40分でした

私はこんなことを実践したい。カステラ、お餅で昼食、またはフランスパンに蜂蜜をつけ、フルーツを。また、エネルギー複合ゼリー（炭水化物の多いもの）も忍ばせて。い

やいや食事も楽しくなってきたぞ。これでは一回戦負けはできないナ。

おっと肝心なこと、サッカーでは後半足のつりやすい選手はハーフタイムにアミノ酸のサプリメントを飲み、予防に役立っているそうだ。アミノバイタルも用意しておこう。さてよ！ 効き過ぎて、ピョンピョンと若返ってしまったらどうしよう。

「日本のサッカーを栄養から強くしたい」と熱望する管理栄養士・川端理香さん。ヴェルディ川崎を振り出しに浦和レッズなど「サッカー栄養士」にばく進する。まさに彼女の生き方を学ぶ講義でもあったと思います。

体協五十周年記念事業

「三鷹市体育協会創立五十周年記念式典・祝賀会」
五月二十六日(土)、三鷹産業プラザ。同実行委員会において準備中です。ご協力お願いいたします。

体協ホームページ開設

50周年記念事業にあわせ体協ホームページ始動。事務局に体験版も用意してあります。どなたでも自由に触れて体験練習してみてください。電子コミニティ時代、春とともに芽を吹きました。皆で大切に育てましよう。

アドレス <http://www.mitaka-taikyo.com/>

スポーツ振興課からのお知らせ

第二体育館

【一階】クラブ等が日頃の活動における親睦と交流を図る場として「コミュニティケージン室」と「クラブ室」を設置しました。少人数の打合せ等にご利用ください。
【二階】トレーニング室を利用した「健康・体力づくり相談室」開設。体力測定は予約制(定員四名)。お気軽にご利用ください。
詳しくは、スポーツ振興課へ